

アメリカの風に触れる

第3回国際理解講座

11/27

11月27日(金)、市民会館で、当市ALTとしてアメリカから来日しているシャンティ・ラヒムさんを講師に招き『第3回国際理解講座』（市主催）を開催しました。

シャンティさんは、自身が生活を送っていたアメリカ北西部について紹介。中でも、学校の仕組みや学生生活などを詳しく話してくれました。

一般的に、アメリカの公立学校には制服は無く、自由な服装が許されていること、その中で学校にふさわしくない服装では通学しない教育を生徒たちは受けている、というエピソードに参加者は耳を傾け、自由と自律を重んじるアメリカ文化の一端に触れる機会を得ました。



▲現地の様子をスライドで説明しながら講演するシャンティさん

憧れの選手と間近で交流

北海道日本ハムファイターズ

北海道179市町村応援大使2015

「中島卓也選手」「岡大海選手」交流事業

11/27



▲幌別西小学校の児童から寄せ書きを贈られ、岡選手（手前）と中島選手（奥）は握手で応えた。



▲ストラックアウト対決で勝利した市民チームには、選手から直接記念品が贈られた。



▲雨が降る中、両選手は源泉から流れる天然の足湯を楽しんだ。



▲抽選会では、選手が読み上げる当選番号に参加者は一喜一憂していた。

この記事の関連動画を次の方法でご覧いただけます。

- ・URL：
<https://www.youtube.com/user/NoboribetsuOfficial/videos>
- ・市フェイスブック
- ・二次元バーコード



市民会館で行われたトークショーでは、選手と市民のストラックアウト対決、選手の間連グッズが当たる抽選会、応援大使への質問などが行われました。

選手が入場すると、トークショーの参加者は、写真を撮ったり布で作った自前の応援メッセージを出したりと、大きな盛り上がりを見せました。憧れの選手と間近で接することができ、参加者にとって忘れられない思い出となりました。

『北海道179市町村応援大使』は、北海道日本ハムファイターズが10年かけて北海道の各市町村を順次応援していく企画です。この企画に登別市が応募し、平成27年に市の応援大使として中島卓也選手・岡大海選手が任命され、市内の親子を対象とした応援観戦ツアーなど、さまざまな事業を行ってきました。そして11月27日(金)、両選手を登別市にお招きして交流事業（市主催）を開催。両選手は、幌別西小学校の児童との交流、大湯沼川天然足湯の体験、トークショーなどを行いました。